

米国バイオ&テクノロジー株オープンの運用状況

米国バイオ&テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

2020年6月12日

米国バイオ&テクノロジー株オープンは、2020年6月9日に決算を迎え、分配金は1万口当たり1,450円（税引前）とさせていただきます。なお、ファンド設定来の分配金累計額は、同4,500円（同）となっています。

6月9日現在、基準価額は10,004円、実質株式組入比率は90.9%、組入銘柄数は59銘柄、設定来の分配金再投資基準価額の騰落率は、+54.1%となっています。

運用状況（作成基準日 2020年6月9日）

設定来の基準価額推移（2015年3月17日～2020年6月9日）



| ファンドデータ(6月9日現在) | |
|-----------------|--------|
| 基準価額(円) | 10,004 |
| 残存元本(百万口) | 6,490 |
| 純資産総額(百万円) | 6,492 |
| 株式組入比率(%) | 90.9 |
| 短期金融商品その他(%) | 9.1 |
| 組入銘柄数 | 59 |

| セクター別組入比率(6月9日現在) | |
|------------------------|-------|
| ソフトウェア・サービス | 23.9% |
| 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 21.0% |
| ヘルスケア機器・サービス | 13.8% |
| テクノロジー・ハードウェアおよび機器 | 11.2% |
| メディア・娯楽 | 11.0% |
| 半導体・半導体製造装置 | 7.9% |
| 小売 | 2.1% |

| 分配金実績(1万口当たり、税引前) | |
|-------------------|--------|
| 第1期(2015年6月9日) | 450円 |
| 第9期(2017年6月9日) | 50円 |
| 第11期(2017年12月11日) | 650円 |
| 第12期(2018年3月9日) | 550円 |
| 第13期(2018年6月11日) | 550円 |
| 第14期(2018年9月10日) | 500円 |
| 第19期(2019年12月9日) | 300円 |
| 第21期(2020年6月9日) | 1,450円 |
| 設定来累計 | 4,500円 |

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。

※分配金は1万口当たり、税引前です。

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

※分配金再投資基準価額は、設定日を起点として算出しております。

※各比率はマザーファンドを通じた実質組入比率です。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国バイオ&テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国バイオ&テクノロジー株オープン
追加型投信/海外/株式

今回の新型コロナウイルスの感染拡大によるパンデミック（世界的な大流行）は、消費者の行動や企業活動、医療、教育など様々な分野で大きな変化をもたらしつつあります。

本レポートでは、医療分野において今まさに起こり始めている変化、足元にかけての株式市場の動向、および当ファンドの足元の運用状況について、説明いたします。

【遠隔医療の可能性が拡大】

今日、医療システムの在り方が変化しつつあります。例えば、日本では従来、オンライン診療はあくまでも通院して診療歴のある人のみが受けられるものでした。しかし足元では、オンラインでの初診や、それを受けた服薬を認める動きが出始めています。今後、オンライン診療がさらに普及するにつれて、診断に必要な患者の基礎データについてもデジタル・デバイスの活用が促進されると考えられます。

オンライン診療については、今回の新型コロナウイルスの感染拡大によって、その普及の可能性が一段と広がっています。感染患者の画像をデータ化することによって、人工知能(AI)を用いて症状と今後の進行可能性の診断を試みる動きもあります。様々な病気について、画像センサーを用いてデータベース化が広がれば、オンライン診療の適用範囲はますます拡大していくものと思われま

す。当ファンドでは、患者の遠隔モニタリングシステムの開発を行うデクスコムに投資しています。

【医療システムのデジタル化がこれから進展】

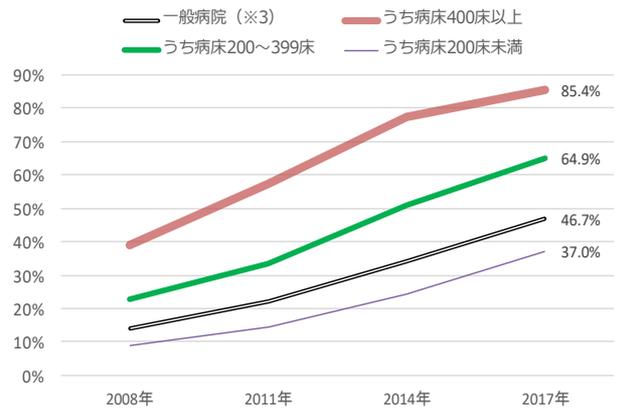
デジタル化やオンライン化は、クラウドを用いたサービスの拡大にもつながります。従来の医療システムでは、医師が薬を処方する際に、製薬会社から詳しい情報を直接取得して、最も効果的で安全な方法を判断して処方してきました。一方で、様々な論文や処方例をクラウド上でデータベース化し、AIによる効果的な処方の検索が行われ始めています。今回の感染問題で、直接の接触ができなくなり、医師が製薬会社から直接情報を取得できなくなったことを受けて、クラウドを通じたデータベースの利用が今後さらに進んでいくものと思われま

す。当ファンドでは、投薬計画の最適化など、医療情報サービスを提供するタブラ・ラサ・ヘルスケアに投資しています。

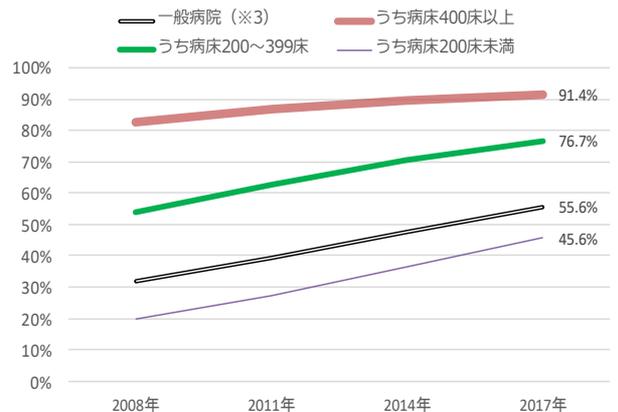
本資料における銘柄紹介は、情報提供を目的とするものであり、個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

日本における電子カルテシステム等の普及状況の推移

◎ 電子カルテシステム (※1)



◎ オーダリングシステム (※2)



- ※1 従来医師が診療の経過を記入していた紙のカルテを電子的なシステムに置き換え、電子情報として一括してカルテを編集・管理し、データベースに記録するシステム
- ※2 検査や処置、投薬などの医師の指示をパソコンに入力することでそのデータを関連部署に届けられるシステム
- ※3 一般病院とは、病院のうち、精神科病床のみを有する病院及び結核病床のみを有する病院を除いたもの

(出所) 厚生労働省の医療施設調査データより
岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国バイオ&テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国バイオ&テクノロジー株オープン
追加型投信/海外/株式

【足元はテクノロジー株主導で上値を試す展開】

米国株式市場は、5月上旬から中旬にかけては、米中関係や米国経済の見通しへの懸念が下落要因となった一方、米国各州で経済活動再開に向けて都市封鎖措置が緩和され始めたことや、米連邦準備制度理事会（FRB）による追加的な景気対策への期待が下支えとなり、もみ合う展開になりました。下旬には、経済活動再開への期待が続いたことから上昇しました。

6月に入ってから、米国において経済活動をスムーズに再開できるとの見方が強まる中、テクノロジー株が相場全体の上昇を牽引する動きとなり、ナスダック総合指数が過去最高値を更新する展開となりました（6月10日現在）。

【当面の株式市場見通しと運用方針】

当面の米国株式市場は、目先は不安定な相場展開が予想され、高値警戒感が意識されやすい環境にあると考えられます。また、米中対立への懸念が残ることや、7月以降に本格化する米国企業の決算発表を前に、2020年4-6月期業績の下方修正を発表する企業の増加が見込まれることも株価の上値を抑える要因になると思われます。一方、経済活動の再開や追加の景気対策への期待が、株価の下支え要因になると予想されます。

当ファンドの運用につきましては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドからの投資助言を参考に、投資環境や業績動向などを勘案して銘柄選別し、組入れを行います。テクノロジー関連株に関しては、業績の安定度が高い大型のメディア・娯楽株のウェイトを引き上げる方針です。バイオ関連株では、遠隔医療に携わる銘柄のウェイトを一段と引き上げる一方、足元にかけて株価が大幅に上昇した中堅のバイオ医薬品株の利益確定売りを行う方針です。

米国の主要株価指数の推移

(2020年1月2日～2020年6月8日、2020年1月2日=100)



(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

S&P500種株価指数構成銘柄の情報技術セクターとヘルスケアセクターの予想EPS成長率（6月5日現在）

| セクター | 2020年 1-3月期 | 2020年 4-6月期 | 2020年 7-9月期 | 2020年 10-12月期 |
|---------------------|----------------|----------------|----------------|------------------|
| 情報技術 | 2.1% | -9.4% | -5.2% | 0.9% |
| 半導体 | -2.5% | -4.1% | -4.8% | -3.5% |
| ソフトウェア・サービス | 9.5% | -7.3% | -0.7% | 3.2% |
| テクノロジー・ハードウェア機器 | -5.6% | -17.3% | -11.7% | 0.8% |
| ヘルスケア | 2.1% | -18.7% | -4.5% | 8.4% |
| ヘルスケア機器・サービス | -3.6% | -20.4% | -7.6% | 0.9% |
| 医薬品・バイオテック・ライフサイエンス | 6.1% | -17.6% | -2.4% | 14.3% |
| S&P500 | -17.7% | -43.7% | -25.3% | -11.9% |
| S&P500（除く金融） | -11.7% | -43.0% | -22.4% | -8.2% |

(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

(作成：運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国バイオ&テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**米国バイオ & テクノロジー株オープン
追加型投信 / 海外 / 株式**
米国バイオ & テクノロジー株オープンに関する留意事項
【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが見込まれる場合も同様です。
 - ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
 - 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.30%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.815%（税抜1.65%）
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

| 商号 | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|-------------------|-----------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| | | 日本証券業協会 | 一般社団法人 日本投資 顧問業協会 | 一般社団法人 金融先物 取引業協会 | 一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会 |
| (金融商品取引業者) | | | | | |
| 岡三証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第53号 | ○ | ○ | | ○ |
| 岡三オンライン証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第52号 | ○ | ○ | ○ | |
| 岡三にいがた証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第169号 | ○ | | | |
| 阿波証券株式会社 | 四国財務局長(金商)第1号 | ○ | | | |
| 株式会社SBI証券 | 関東財務局長(金商)第44号 | ○ | | ○ | ○ |
| 三縁証券株式会社 | 東海財務局長(金商)第22号 | ○ | | | |
| 荘内証券株式会社 | 東北財務局長(金商)第1号 | ○ | | | |
| 東海東京証券株式会社 | 東海財務局長(金商)第140号 | ○ | | ○ | ○ |
| 東武証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第120号 | ○ | | | |
| 益茂証券株式会社 | 北陸財務局長(金商)第12号 | ○ | | ○ | |
| 松井証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第164号 | ○ | | ○ | |
| マネックス証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第165号 | ○ | ○ | ○ | |
| 楽天証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 愛媛証券株式会社 | 四国財務局長(金商)第2号 | ○ | | | |
| 三晃証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第72号 | ○ | | | |
| 野畑証券株式会社 | 東海財務局長(金商)第18号 | ○ | | | ○ |

<本資料に関するお問合わせ先>
フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)